科目名	神経障害理学療法学実習	担当教員	久保田 健太※ 山中 正紀※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	---------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	1単位	実習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR31CDE	②					

科目概要	<p>「神経障害理学療法学」および「神経障害理学療法学演習」で学習したことを基に、脳血管障害に対する介助方法や運動療法を実技形式で学習する。特に歩行、立位、立ち上がり、座位、寝返り・起き上がりなどの基本動作における運動療法を肢位別だけではなく、肢位間のつながりも意識すること、運動学や生理学、運動学習理論を踏まえたmotor learning programを実践できるように理解を深める。また従来の疾患特異的な運動療法のみならず、最新のエビデンストレーニングも実践し学習する。</p> <p>脊髄損傷は、永続的で重篤な症候や合併症を引き起こし、日常生活に重大な支障をきたす疾患である。他職種と連携を取りチーム医療を提供し、症状や障害の改善を図る必要がある。その症状や障害を理解するために、臨床症例の動画の活用をしながら学習する。</p>
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 脳卒中の基本動作における介助法を理解する。 ② 脳卒中の評価ポイント、運動療法を理解する。 ③ 脊髄損傷の障害や症候・合併症等への理解を深め、具体的な対応を理解する。 ④ 脊髄損傷の神経学的評価について理解する。 ⑤ 脊髄損傷の運動療法を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験教員担当項目
1	脳血管障害	筋緊張 1	肢位変化に対する筋緊張の変化を観察し、緊張の変化が動作に与える影響を実技形式で学習する。	久保田
2	脳血管障害	片麻痺者の寝返り・起き上がり	寝返りや起き上がり時の評価のポイント、運動療法を、実技を通して学習する。また介助法も習得する。	久保田
3	脳血管障害	片麻痺者の座位・立ち上がり	座位や立ち上がり時の評価のポイント、運動療法を、実技を通して学習する。また介助法も習得する。	久保田
4	脳血管障害	片麻痺患者の立位・歩行	立位や歩行時の評価のポイント、運動療法を、実技を通して学習する。また介助法も習得する。	久保田
5	脳血管障害	片麻痺患者の上肢に対する運動療法	麻痺側上肢の評価のポイント、運動療法などを、実技を通して学習する。	久保田
6	脳血管障害	片麻痺患者の下肢に対する運動療法	麻痺側下肢の評価のポイント、運動療法などを、実技を通して学習する。	久保田
7	脊髄障害	脊髄損傷総論①	脊髄障害の原因・回復過程について理解し、説明することができる。	山中
8	脊髄障害	脊髄損傷総論②	脊髄損傷の診断・治療について理解し、説明することができる。	山中
9	脊髄障害	脊髄損傷総論③	脊髄損傷の診断について理解し、説明することができる。	山中
10	脊髄障害	脊髄損傷総論④	ASIA スコアリングシステムについて理解し、説明することができる。	山中
11	脊髄障害	脊髄損傷の症候と合併症①	脊髄損傷の呼吸障害及び、排泄障害とその対応について理解し、説明することができる。	山中

12	脊髄障害	脊髄損傷の症候と合併症②	脊髄損傷の自律神経障害、その他の症候及び合併症などの対応について理解し、説明することができる。	山中
13	脊髄障害	四肢麻痺	四肢麻痺について臨床症例を通して学ぶことができる。	山中
14	脊髄障害	対麻痺	対麻痺について臨床症例を通して学ぶことができる。	山中
15	脊髄障害	脊髄障害に対する運動療法・生活環境支援	脊髄損傷の運動療法及び生活環境支援を学ぶことができる。	山中
評価方法		レポート（40%）・筆記試験（60%）		
課題に対するフィードバック		講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		岩崎洋・編『脊髄損傷理学療法マニュアル 第3版』文光堂、2020年		
参考図書		田中宏太佳・編『動画で学ぶ 脊髄損傷のリハビリテーション』医学書院、2010年 伊藤利之、江藤文夫・編『新版日常生活活動(ADL)－評価と支援の実際－』医歯薬出版、2011年 神奈川リハビリテーション病院脊髄損傷マニュアル編集委員会・編『脊髄損傷リハビリテーションマニュアル 第3版』医学書院、2019年		
学習の準備		全般：授業資料などを用い1回につき、45分以上しっかり復習する 脊髄障害：事前配布する予習プリントなどを用い、人体構造機能学の知識を持って授業に臨むこと		
オフィスアワー		月曜日 13:00～14:30、その他在室時はいつでも可		
担当教員欄に※印を付した教員の実務経験		久保田健太・山中は、民間・公的病院等で脳血管障害および脊髄損傷に対する介助方法や運動療法の実務経験を有しており、その経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。		